

○インスペクターからのコメント（84回）

長く続けていくことによって人も入れ替わっていきますが、その中で人の意識が変わっていったら、相生山緑地に関わった人がどんどん増えていけば、この活動の意味もあるのかなと思ったりします。継続していくことが非常に重要で、その中で人を育てていくということも大切です。活動回数が減りますけれども、みんながこれのように集まって、楽しく続けていきたいと思っています。

岡村
インスペクター

今日の発表を聞くと、これだけのグループで非常に多くの内容をやってきたことが分かります。来年度は活動回数が減り、作業を上手く整理していかないとできなくなってしまうので、大変だと思いますが、やはりきちんと続けていくことが大切です。各グループ活動はそれぞれ成果が上がっていると思いますので来年も宜しく願います。

大竹
インスペクター

発表を聞くと、非常に多くの成果が出てきていて、これだけデータを蓄積してくると、ちょっと勿体ない感じがして、何かの形でまとめて世界的に発信して頂けるといいなあと思いました。今のところ特に悪い影響は見受けられないので、今まで守りの体制でしたが、これから何か次に活かせるようなデータ分析等をやっているといいなと思います。

藤田
インスペクター

モニタリングというのは、私達が普段、身長や体重を計るようなもので、やらなくても成長していくかもしれませんが、病気になった時にいち早く知るためのものです。もちろん人間ドックで検査できれば良いですが、今はそのお金がないので、最低限はやっておこうよ、という活動です。モノには量と質があります。質の計算は大変難しいので、ワーキングでは質から求めていけることをやっています。諦めないということが一番重要ですので、回数は減りますが、質の高い活動をやっていきましょう。

長谷川
インスペクター

◇モニタリングの継続について

これまで実施してきた各種モニタリングについて、次年度以降も継続していくか否か、継続する場合は頻度や場所の適切性、あるいは新たに調査する必要がある項目はないか、などについてグループで話し合いました。

施工グループ

モニタリング項目	継続の有無、調査の頻度・箇所の見直し等
地下水位	継続 No.2は、工事が再開した際の影響が考えられるため継続する。No.1はNo.2の正確さを確認する比較対象として継続する。
シェルター構造上部水位	— 今後の植栽との兼ね合いもあるため、植物グループと話し合ってから決める。
湧水量	継続 上昇の原因が工事の影響ではないことを検証するために継続する。
沢すじ浸食部の定期観測	継続 散策路の利用や工事再開後の工事用道路の影響も避けるべきであるため、モニタリングは継続していく。
土壌水分量	継続 シェルター上部と森側の差がなく、値もほぼ一定であるため、継続の必要性は低いと考えられるが、調査期間が1年程度で短いため、しばらく継続して見ていく。

植物グループ

モニタリング項目	継続の有無、調査の頻度・箇所の見直し等
コドラート調査	中止 観察は継続するが、調査としては終了する。その他の調査で補完する。
定点写真調査(道ぎわ) 定点写真調査(林縁部)	継続 林縁部の後退、森の状況等変化を見ていく必要があるため、今後も同様に継続する。コドラート調査の変移もこの中で見ていく。
植生回復調査	継続 今後も継続する。
壁面緑化の定期調査	中止 盛土擁壁部は森側からの植生も回復したため、調査は不要と判断し、中止する。 継続 切土擁壁の壁面緑化は継続して見ていく。

動物グループ

モニタリング項目	継続の有無、調査の頻度・箇所の見直し等
センサーカメラの 定点写真調査	継続 センサーカメラ調査により、相生山全体の動物の変化を見ることが出来るため、四季ごとの変化を確認できる年間4回以上の頻度で継続する。
ヒメボタル調査	継続 今後も継続する。

継続するモニタリング項目は、今後も考察しながら見ていきます。

問い合わせ先

名古屋市 緑政土木局 道路建設部 道路建設課内「環境に配慮した道づくり」施工ワーキング事務局
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話:052-972-2873 FAX:052-972-4168

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-3-7-0-0-0-0-0-0-0.html>

「環境に配慮した道づくり」施工ワーキングだより
第70号

施工ワーキングの
ススメ

《特集!》
相生山の歴史 p.2~3

●第84回施工ワーキング

平成26年3月2日（日）に第84回施工ワーキングを開催し、24名が参加しました。

今回は平成25年度の施工ワーキングのまとめとして、グループごとに活動内容を発表しました。また、これまで続けてきた各種モニタリングについて、頻度や場所等の妥当性を確認し、今後の継続について話し合いました。

◇グループ活動発表会

平成25年度の一年間を通じて、各グループで実施した活動を振り返り、結果を発表しました。各種モニタリングの現段階における考察や、次年度の活動の中で検討していく課題などについても情報を共有することができました。

発表のようす



グループの中で発表者を決めて、パワーポイントを使うなどしながら、工夫を凝らした発表会となりました。

グループごとで話し合い

植物グループ



動物グループ



自分のグループにも関連する内容だな...

他のグループと協力して検討すべき課題もあったり...

施工グループ



交通グループ



振り返れば、1年間はあっという間で、案外、忘れていたことも。